

令和8年度学校経営計画

江田島市立江田島小学校

I ミッション

生涯を自立的に生き抜き、未来を切り拓くために必要な資質・能力を育成する。

○児童の「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育成する。

○信頼される学校づくりを行う。

II ビジョン

【学校教育目標】 ふるさとを愛し、未来を拓く児童の育成 ～「自分」をつくる～

【めざす児童像】

「え」笑顔でたすけ合い、「た」たくましく成長し、「じ」自分のよさを生かし、「ま」まっすぐ未来へ歩む子
(かかわる力) (やりぬく力) (見つめる力) (見通す力)

【めざす学校像】

○元気いっぱい・笑顔いっぱいの学校 ○安心・安全な学校 ○地域とともにある学校

【めざす教職員像】 共創

○プロ意識をもつ教職員 ○笑顔・あいさつを大切にする教職員 ○組織の一員としてチームで働く教職員

III 現状分析

【確かな学力】

・江田島市学力調査の各教科の合計点が目標値を上回った学年・教科（2教科×6学年＋1教科×4学年）は、国語が3学年/6学年、算数が3学年/6学年、理科が4学年/4学年であり、全体の62.5%であった。（目標値70%）

・「主体的な学び」が定着している児童の割合（児童アンケート）は、78.7%であった。（目標値85%）

・児童同士の学び合いがある授業づくり（教師アンケート）は、95.0%であった。（目標値85%）

【豊かな心】

・自己有用感を感じている児童の割合は80%であった。（目標値90%）

・校内ボランティア活動への参加率は51%であった。（目標値75%）

・目標に向かって努力する児童の割合は87%であった。（目標値90%）

【健やかな体】

・「運動やスポーツが好き」と答えた児童の割合は94%であった。（目標値90%）

・1日1回以上、外遊びをする児童の割合は、68.0%であった。（目標値75%）

・起床、就寝時刻が適切な（7割以上）児童の割合は、84.3%であった。（目標値90%）

・朝食を毎日（7割以上）食べた児童の割合は、94.4%であった。（目標値100%）

【信頼に応える学校】

「学校に行くことを楽しみにしている」89.8%、「学校だより・ホームページ等で学校の様子がわかる」98.6%

「願いを受け止め、取組を進めている」87.0%「悩みごと・困ったことを相談できる」89.8%

【働き方改革】

・時間外勤務時間が45時間を上回る教職員の割合は56.7%であった。（目標値70%）

・「子どもと向き合う時間を確保している」教職員の割合は91.7%であった。（目標値75%）

Ⅳ 目標及び取組

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
学び続ける力の育成	主体的・対話的で深い学びを推進し、基礎的・基本的な知識・技能を定着させ、児童自らがねばり強く学習に取り組もうとする力を育成する。	授業改善による学習意欲及び学力の向上	・「江小授業モデル」を基にして、見通しをもってねばり強く取り組み、学習活動を振り返らせ、次の学習につなげる授業づくりを行う。 ・基礎的・基本的な学力を確実に定着させるためにドリル学習を行う。 ・「家庭学習モデル」を基にして、児童自らが課題と向き合ったり、自ら学びを広げたりする自主学習に取り組ませる。 ・新聞を活用した教育（N I E活動）を行い、文字に親しむ。
思いやりのある心の育成	互いの個性や多様性を認め合い、安全・安心な学級づくりを実現し、児童自らが主体的に活動しようとする力を育成する。	自己実現力・自己効力感を向上させる取組の充実	・話し合い活動を充実させるとともに教師による「評言」の工夫等により、温かく認め合える学級づくりを行う。 ・委員会、係活動、縦割り班活動等で児童が自分たちで計画し実行できるような自治的な活動を行わせる。 ・ボランティア活動や学級での活動等、他者のために働く姿を肯定的に評価する。
健やかな体の育成	運動の楽しさを味わえる取組を推進し、体を動かす機会を習慣化させ、児童自らが体力向上を図ろうとする力を育成する。	進んで運動に親しむ児童の育成	・外遊びを奨励し、友達と関わりながら体を動かすことの楽しさを味わうことができるよう、各学級で遊び方等を工夫する。
		基本的生活習慣の確立	・発達段階に合わせて睡眠の大切さについて指導し、適切な時間に就寝するよう生活リズムを整えさせる。
信頼に応える学校	保護者や地域住民等の協力を得ながら学校運営を行い、家庭やP T Aと連携・協働した取組を推進する。	地域とともにある学校づくり	・児童は地域に出かけ、地域の方には学校に来ていただく機会を多く設ける。 ・地域の方や保護者の方々の知見を教育活動に生かす。（シン・江小まつりの開催）
働き方改革	働き方改革を推進し、教職員が健康でやりがいを持って働くことができる環境を整備する	教職員が健康で、元気・笑顔で働ける組織づくり	・教職員アンケートを定期的実施し、業務改善に向けた取組を継続する。（スクラップできる方策を実行） ・教職員それぞれが自律した働き方を実行する。